

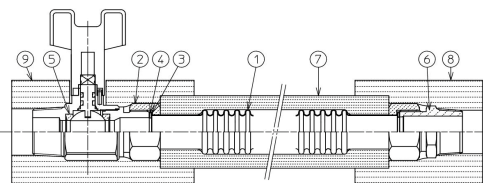
# ニートジョイント 施工要領書

# ニートジョイント [保温材付きフレキシブルチューブ]



施工手順

## 1. 作業前の確認



ニートジョイントの形状

表1 部品表

品番	部品名	材質
1	チューブ	SUS316L
2	袋ナット	C3771BD ※1
3	リングシート	PTFE
4	パッキン	ノンアスベスト ※2
5	ストレートバルブ	C3604BD ※3
6	ニップル	C3604BD ※3
7	断熱材(本体)	特殊エラストマー
8	断熱材(ニップル)	特殊エラストマー
9	断熱材(バルブ)	特殊エラストマー

※ピニールテープ1ヶ付属

※1 ナットの種類: C3771BD, C3604BD, CAC406, SUS304

※2 パッキンの種類: ノンアスベスト, NBR, EPDM, PTFE

※3 バルブ・ニップルの種類: C3604BD, CAC406

施工前に次の事項についてご確認ください。

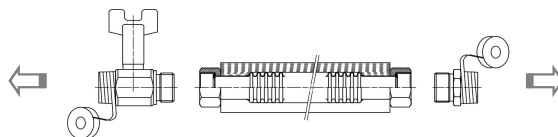
- 口径、長さが適正か
- シール面に損傷が無いか

## 2. 配管への取り付け

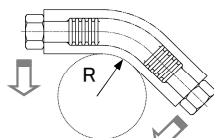
- ① 仮固定している断熱材(ニップル),(バルブ)を外し、仮締め状態の両端袋ナットを緩めて、ニップル及びバルブを取り外して下さい。

**!** パッキンは袋ナット手締め時まで大切に保管して下さい。断熱材(本体)は取り外さないで、全ての施工を行なって下さい。

- ② テーパーねじ部にシールテープを巻き付けて、一次側、二次側それぞれの配管側へ手締めできる山数までねじ込み、スパナ等でしっかりと締め付けて下さい。



- ③ チューブ本体を所定の形状に曲げて下さい。その際、下表の最小曲げ半径を守ってください。



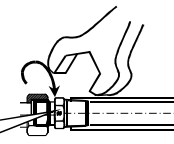
口径	最小曲げ半径 R (mm)
3/4"	60

**!** 引張り、圧縮、ねじれ、折れなど局所的な曲げは避けて下さい。

- ④ パッキンが装着されていることを確認し、袋ナットを手締めできる山数までねじ込んで下さい。他方も同様に取り付けして下さい。

## 3. 袋ナットの締め付け

直管部を手で固定し、チューブ本体に振れが発生しないよう注意してスパナ等で袋ナットを手締め状態から1/3回転程度締め付けて下さい。



本締めの際、接続先のニップルやバルブが共回りしない様に注意して下さい。ねじれの原因となります。

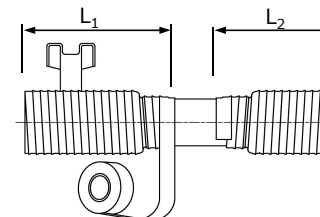
トルクレンチを使用する場合は、右表の値を目安に締め付けて下さい。

口径	締め付トルク
3/4"	24.5N・m

## 4. 断熱材両端のテープ巻き

- ① 断熱チューブ表面のほこり、水分、油等を完全に落として下さい。

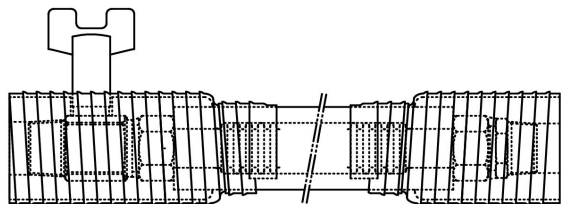
- ② 断熱材(ニップル),(バルブ)をニップル及びバルブに被せ、繋ぎ目をしっかり合わせて付属のピニールテープで螺旋状に巻いて下さい。



箇所	L <sub>1</sub> (mm)	L <sub>2</sub> (mm)
口径 3/4"	130	100

**!** 半重ねの螺旋状巻きを推奨します。

## 断熱材施工完成図



## ! 注意事項

- ウォーターハンマーの発生が懸念される配管系では、フレキが損傷する恐れがあります。適切な衝撃防止対策を行って下さい。また、フレキ両側の配管をフレキ近傍でしっかりと固定して下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないように、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速(内径基準)が3 m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- ステンレスに対して腐食性を有する流体については、ZTFシリーズ(フッ素樹脂製)をご使用下さい。
- 袋ナットの締め付けの際には、製品がねじれない様ご注意ください。寿命を縮める原因となります。